

施設・設備



<運動遊びの庭>

- 子供たちが、互いに交流し合い、温かい雰囲気のある学校となることを願い、「みんなの庭」と称した中庭を囲む「口(ろ)の字形」の校舎を作ります。

- みんなで活動できる屋外遊びのスペース、「運動遊びの庭」が設置されます。その他にも大小二つの体育館と屋内プール、100mの走路を設置できる校庭など、広々とした運動場で、思いっきり体を動かして活動します。



<みんなの庭>

地域の方々との交流スペース「どまカフェ」があります



<どまカフェ>

- 「どまカフェ」とは、地域の方々にも御利用いただけるカフェです。
 - ※接客等の実践的な学習
 - ※児童生徒による作品の展示
 - ※学習の中で制作した製品の販売 など地域の方との様々な交流の場です。開校の際には、御来店をお待ちしております。

お問い合わせ

秋保かがやき支援学校

検索



宮城県立秋保かがやき支援学校
〒982-0241
仙台市太白区秋保町湯本字鹿乙20番地
TEL:022(354)8102
FAX:022(354)8305
E-mail:akiu-kagayaki@od.myswan.ed.jp



宮城県立

あきう

しえんがっこう

秋保かがやき支援学校

かがや
～一人一人が輝きながら、
のののまな
伸び伸びと学びます～



令和6年4月
開校



<全景>

学部

※重複学級とは、知的障害を主障害とし、肢体不自由など他の障害を併せ有する児童生徒が学習する学級のこと。
 ※単一学級とは、主に知的障害のみある児童生徒が学習する学級のこと。

小学部 54人	中学部 27人	高等部普通科 33人	高等部産業技術科 96人
重複学級18人 1学級3人×6学年	重複学級9人 1学級3人×3学年	重複学級9人 1学級3人×3学年	単一学級96人 4学級32人×3学年 【4つのコースで学習】 ①ホテルビジネス ②食品製造 ③流通・サービス ④介護福祉
単一学級36人 1学級6人×6学年	単一学級18人 1学級6人×3学年	単一学級24人 1学級8人×3学年	

学部の学習

卒業後の社会での生活	
【高等部】普通科 ○自立に向けた安定した生活習慣 ○地域社会との関わり ○個々の社会生活に必要な力 ○最後までやり遂げる力 ○協力して行動する経験	【高等部】産業技術科 ○自立した生活習慣 ○地域社会との関わり ○社会での生活に求められる力 ○働くための力(職業的自立) ○協力して行動する経験
【中学部】 ○基礎・基本の確立、発展 ○集団での関わり ○様々な学習・生活体験	
【小学部】 ○生活と学習の基礎・基盤 ○様々な学習・生活体験 ○興味・関心の向上	

※A課程・・・主に重複学級の児童生徒が学ぶ教育課程
 ※B課程・・・主に単一学級の児童生徒が学ぶ教育課程

	課程	各教科等の指導		各教科等を合わせた指導
小学部	A・B課程	国語	自立活動	日常生活の指導
		算数 音楽 体育 など	特別活動 特別の教科 道徳	遊びの指導 生活単元学習
中学部	A・B課程	国語	自立活動	日常生活の指導
		数学 音楽 保健体育 など	特別活動 特別の教科 道徳 総合的な学習の時間	生活単元学習 作業学習
高等部普通科	A・B課程	国語	自立活動	日常生活の指導
		数学	特別活動	生活単元学習
		音楽	特別の教科 道徳	作業学習
		保健体育	総合的な探究の時間	
		家庭 など		

各教科等の指導
国語
数学
音楽
美術
保健体育
家庭
外国語
職業など
専門教科など
教科の学習中心
自立活動
特別活動
特別の教科道徳
総合的な探究の時間

専門教科コース	主な内容
コース	1年生→4コースを学習 2・3年生→希望により1つのコースを選択
ホテルビジネス	・宿泊、飲食サービス業に関する学習 ・客室清掃やベッドメイキング、厨房業務など ・フロントや売店、飲食店での接客業務など
食品製造	・地域の食材を活用した食品製造 ・販売ルートを確立し、販売・商品管理までを含めた実習 ・校地内カフェ（どまカフェ）での実践学習
流通サービス	・ビルクリーニングや商品管理に関する学習 ・校内及び校外での日常清掃及び定期的なワックス清掃など
介護福祉	・介護・福祉分野に必要な知識と技能を学習 ・介護職員初任者研修修了証（旧ホームヘルパー2級）の取得を目指した実習

※教育課程とは、学校教育の目的を達成するために、どのような学習を行うのかをまとめた教育計画のこと。

Point! 学校の特徴

- 1 小・中学部・高等部普通科(小・中・高の学部が設置されているこれまでの特別支援学校)と、高等部産業技術科(これまでの高等学園)が、一つ屋根の下、同じ校舎で共に学びます。
- 2 様々な学習場面での学部間の交流を展開します。
- 3 地域との連携・交流を取り入れた学習活動を展開します。
- 4 高等部産業技術科には、地域に根ざした4コースを設定しています。
- 5 広々とした環境で、充実した活動を促します。

通学区域

※小学部、中学部、高等部普通科は、表の中学校区が通学区域となります。
 ※高等部産業技術科は、宮城県全域を通学対象としています。

小学部	中学部	高等部普通科	の通学区域
通学区域となる中学校区			
青葉区	広瀬中	広陵中	錦ヶ丘中
太白区	生出中	茂庭台中	秋保中
	山田中※	人来田中※	西多賀中※
川崎町	長町中※	愛宕中※	八木山中※
	富岡中	川崎中	

※印のある学区の重度重複障害児は、西多賀支援学校に通学します。

高等部産業技術科 の通学区域

宮城県全域を通学対象

宮城県内どこに住んでいても、入学者選考に出願できます。

平日は、寄宿舎と呼ばれる寮で、3年間過ごします。週末は自宅へ帰ります。

秋保かがやきQ&A

- Q1 なぜ、小学部・中学部・高等部普通科と、高等部産業技術科が、併設されるのですか？
- A1 一人一人の障害の状態が幅広い児童生徒が、一つの学び舎で共に学ぶ学校は、日々学校生活を送る中で多様性を受け入れながら、互いのよさを発揮し合うなど、より広い人間関係を経験することができ、将来の社会での生活に求められる力を高めることにつながると考えています。
- Q2 なぜ、高等部産業技術科の生徒は、3年間寄宿舎生活をするのですか？
- A2 卒業後の自立に必要な生活する力を確実に身に付けるためには、3年間を通じた継続的な取組が効果的であると考えています。